



発行所  
〒921-8517  
金沢市泉野出町3丁目10-10  
石川県立金沢泉丘高校内  
一泉同窓会  
電話 (076) 242-0211  
FAX (076) 216-5656  
2012. 3. 31. 発行  
E-mail : issen.knz@hotmail.com



## 一泉同窓会が石巻市民病院を支援 眼科仮診療室と待合室建設 善意の義援金144万円 民間企業 6社も協力

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は岩手、宮城、福島県などに未曾有の大被害をもたらした。一泉同窓会は5月の代表委員会で目に見えるような復興支援活動に取り組むことを決め、「被災地医療施設支援事業」と銘打った義援金募集を開始した。その後、民間企業6社の応援も得て、7月中旬に宮城県石巻市民病院眼科仮診療室と患者待合室を完成させた。同窓会が被災地支援に立ち上がったのは珍しく新聞やテレビで報道され、全国的に話題となった。

同窓生から寄せられた義援金は24年2月末で1,440,381円に上った。このうち仮診療室

清水会長が亀山市長に目録贈呈



ドームハウスの眼科仮診療室



建設と第

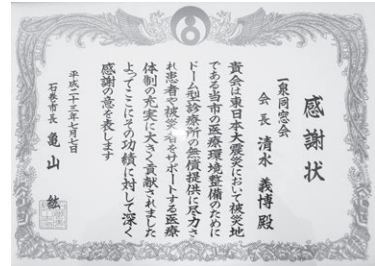
2弾の調査費として94万円を拠出した。一泉同窓会では第2弾の支援事業について石川県健康福祉課などと相談しており、同窓生の善意の義援金をさらに募っている。

### 亀山石巻市長から感謝状

震災被災地の医療施設支援は関東在住の一級建築士・堀誠さん(泉丘26期)と寺崎悠真さん(同49期)、マーケティングコンサルタント・池田真一さん(同26期)が提案した。3人は金沢工大(泉屋利郎理事長・同14期)と加賀市のジャパンドームハウス(株)が共同開発するドームハウス(短工期・耐震・断熱性に優れる)に着目、同窓会の後押しもあって工大の支援とドームハウス2棟の無償提供を得た。

一方、石巻市民病院は津波で建物1階が甚大な被害を受けた。石川県の紹介でドームハウスは、2階に有って診療器具が残った眼科診療室と待合室に利用されることになり、6月中旬から同病院駐車場で建設工事が始まった。7月4日には一泉同窓会の清水義博会長(同22期)が現地を訪れ、亀山紘石巻市長も出席して引き渡し式を行った。亀山市長からは一泉同窓会に感謝状が贈られた。完成した診療室は7月15日から使用され、石巻市民に大きな喜びと希望を与え、この様子は新聞やテレビで全国に伝えられた。

(2頁に義援金の詳報と民間企業の協力内容)



石巻市長から届いた感謝状

## 初の千人超えで心一つに 創立118周年の一泉同窓会



創立118周年記念・平成23年度の一泉同窓会総会と懇親会が創立記念日の10月15日、金沢駅前のANAクラウンプラザホテルで開かれた。今年的主幹事・泉丘30期が打ち出したテーマは「心はひとつ ニッポン そして一泉同窓会 泉夜一夜物語」。千人参加を目標に早くから準備に入ったのが実り、過去最高の1,025人。ロビーにまであふれた90代の中46期から20代前半の泉丘61期までが一つになって母校の発展に尽くすと共に、東日本大震災の復興に向け力を合わせることを誓い合った。

総会では清水義博会長（泉丘22期）があいさつ、村澤勉校長（同23期）が母校の近況を報告した。続いて中山一郎事務局長（同10期）が2年後の母校創立120周年に向け「記念事業実行委員会」がスタートしたことを発表、

あいさつに立った深山彬実行委員長（同11期）が後輩たちの教育環境充実のため約2,500万円の記念事業を計画しているとして、募金による資金協力を呼びかけた。

懇親会は爽やかなオープニングムービーで幕を開けた。30期の美本昌文君と山本孝代さんが司会を務め、蚊谷八郎前会長（同14期）の乾杯の音頭で酒宴に入った。30期の小原繁実行委員長ら30人による創作太鼓「一泉BEAT」=写真=、楽しく118周年の歴史が学べる「一中・泉丘検定」、「懐かしの旧校舎」、「在校生ライフムービー」などが数カ所に設けられたスクリーンに映し出され、手作り同窓会の感激の中で全員がそれぞれの高校生時代へタイムスリップしたかのよう。そんな中で応援歌、一中・泉丘の両校歌を大合唱、30期が舞台上がり小原委員長がお礼のあいさつ、来期を引き受ける31期の柿本和久委員長が決意表明した。

最後に林隆信副会長（同22期）から紹介された山野之義金沢市長（同32期）が一泉同窓生の誇りを持って市政運営に当たると述べ、渋谷亮治元会長（一中54期）の3本締めで名残を惜しんでの散会となった。

なお、30期は医療施設支援プロジェクトの義援金500円を含む一泉グッズ（一泉スポーツタオル、一中・泉丘検定本、一泉キーホルダーの3点セット）を800個作り受付で販売したが完売した。

### 被災地医療 施設支援

### 義援金と企業協力の内容

◆団体からの義援金 関東一泉同窓会（30万円）、関西一泉同窓会（3万6千955円）、松任一泉同窓会（3万円）、泉丘高校図書委員会（1万円）◆各期からの義援金 泉丘8期（3万円）、同10期（3万円）、同11期（3万円）、関東泉丘12期（3万円）、泉丘13期（3万円）、同14期（10万円）、同17期（12万円）、同18期（5万円）、同19期（3万円）、同22期（5万円）、同30期（41万2千円）、関東泉丘31期（2.5万円）◆個人からの義援金 一中52期松田利三、泉丘26期温井伸、同佐々木純子、同関谷譲、同本田幸弘、同小竹利夫、同29期中村早苗（各1万円）、同26期窪田亨（5千円）、同池田真一（1万6千410円）、同大久保千恵（2万円）◆その他からの義援金（1万5千16円）◆民間企業協力内容 ○ジャパンドームハウス（加賀市）ドームハウス2棟提供○西建（山形市）現場施工工事○三谷産業コンストラクションズ（金沢市）エアコン2台、流し台、洗面台、給湯器1台、換気扇提供○コマニー（小松市）可動式パーテーション3台提供○シンコール（金沢市）床長尺シート工事、暗幕、カーテン工事提供○イケダコーポレーション（大阪市）内装天然漆喰材料提供

## しめやかに物故者慰霊祭

平成23年度の一泉同窓会物故者慰霊祭が創立記念日の10月15日午後、母校の厳霜碑前で同窓生や学校関係者ら30人が参列してしめやかに営まれた＝写真＝。

石浦神社の長谷勝俊宮司が祝詞を奏上、清水義博会長（泉丘22期）、蚊谷八郎前会長（同14期）、村澤 勉校長（同23期）、小原 繁今年度一泉同窓会総会実行委員長（同30期）ら



全員が順に玉ぐしを捧げて亡き師や級友の霊を慰めた。今年も参列者の最年長は一中43期の中川松雄さん（93歳）だった。



## 340人が「一泉」の絆深める 関東で53回目の総会・懇親会

首都圏在住の旧制金沢一中と泉丘高校出身者の集い「第53回関東一泉同窓会総会・懇親会」が10月22日夜、東京・中央区のロイヤルパークホテルで開かれた。今年の幹事期は泉丘32期。「一泉の絆を力に」をテーマにした呼びかけに昭和10年卒業の一中42期から平成22年卒業の泉丘62期までの340人が参加、東日本大震災の復興と母校の発展に尽くすことを誓い合った＝写真＝。金沢からは清水義博一泉同窓会会長（泉丘22期）、村澤勉泉丘高校校長（同23期）ら6人が出席した。

熊田大史32期代表幹事が開会を宣言、同期の平野光彦君と山本智子さんが司会、新谷修関東一泉同窓会会長（同11期）が「出会いを楽しみ絆を深めよう」とあいさつ、来賓の清水一泉同窓会会長と村澤校長が祝辞を述べた。

懇親会では泉屋利郎一泉同窓会副会長（同14期）の発声で乾杯し、幹事として出席した山野之義金沢市長は近況報告で北陸新幹線開

### 地区同窓会だより

業に向けた支援を要請した。歓談の合間には、15日に開催された金沢での一泉同窓会に参加した各期からのビデオレターの紹介や、テーブル対抗の一泉同窓会の一番当てゲーム、出席者人数当てクイズの当選者発表があり、ふるさと金沢の土産品が渡された。

エンディングでは一中・泉丘の校歌を高らかに歌い、33期への幹事引継ぎのあと、山岸章関東一泉同窓会副会長（同17期）の三本締めで2時間半の楽しい出会いを終えた。

### 三馬一泉同志会が23回目の集い

金沢市三馬地区の三馬一泉同志会第23回総会が6月23日、地区内の割烹「夢太郎」で11人が出席して開かれた＝写真＝。

大西俊治会長（泉丘7期）があいさつ、酒宴では一中の大先輩・八田興一技師が台湾に造った烏山頭ダムや墓前際の様子、地域の話題などで話しが盛り上がった。中島雄平さん（同9期）の中締めしで散会した。

（北島敏男＝泉丘8期＝記）





## 長岡さん(一中43期)に感謝状贈る 関西一泉総会、貢献度称え

関西一泉同窓会の第31回総会が6月11日の午後、大阪市中央区のパノラマスカイレストラン・アサヒで96人が出席して開かれた。金沢から清水義博本部同窓会長(泉丘22期)、村澤勉校長(同23期)、恩師の田村昌俊先生(同6期)ら6人のほか、今秋の一泉同窓会総会幹事期の泉丘30期から小原繁実行委員長ら7人が特別参加した。

菅野悦次君(同19期)と辻本初枝さん(同4期)が司会を務め、東日本大震災の犠牲者に対し黙祷を捧げた後、片瀬貴文会長(一中55期)があいさつ、清水本部長が祝辞を述べ、今春就任した村澤校長も母校の現況報告を兼ねてあいさつした。続いて同窓会への貢献を称えて最年長の長岡寛厚さん(一中43期)に片瀬会長から感謝状が贈られた。また、特別参加の小原実行委員長らがDVDを使って秋の一泉総会への出席を呼びかけた。

懇親会は越沢晃さん(同55期)の乾杯の音頭で始まり、楽しい歓談の中に歌あり笑いありで進み、恒例のラッキープレゼントに一喜一憂した。最後に一中、泉丘の両校歌を大合唱＝写真＝、辻本副会長の中締めで2時間余の宴を閉じた。今年も参加者全員に片瀬会長

から土産の松任の「あんころ」が渡された。その後はいつものように北新地の「珠洲」(松尾ゆきえさん経営＝通信12期)で二次会が行われ、もう一度盛り上がった。

## 新市誕生後も発展の力に 野々市一泉総会で誓い合う

平成23年の野々市一泉同窓会が6月11日、同町の情報交流館カメラア2階のホールで開かれた。2年に一度の開催で56人が出席した。同窓会本部から泉屋利郎副会長(泉丘14期)、母校から小浦寛教頭(同29期)が来賓として出席した。

田多野和彦事務局長(同15期)が司会、総会で魚野孝次郎会長(同5期)が「秋には野々市市が誕生するが、会員は各所で市勢発展のため活躍されるよう期待したい」とあいさつ、小浦教頭が母校の様子を報告した。

最初に泉丘の校歌を斉唱、最年少参加者・上村康平君(同59期)の乾杯の音頭で懇親会が始まった。同じ地域の先輩と後輩、親友同士の久しぶりの顔合わせに話が弾み、有志の



旗振りで「南征の調べ」など応援歌を歌い＝写真＝、中村伸一郎副会長(同4期)の万歳三唱で名残を惜しみながら散会した。

総会・懇親会に先立ち栗貴章町長(同31期)が「野々市町から野々市市へ」と題して講演した。(押田浩三＝泉丘38期・記)

**JESK HORIUCHI**  
株式会社 ジェスク ホリウチ

取締役 会長 清水 義博 (一泉同窓会会長 泉丘22期)

本社 金沢市泉3丁目1番6号 TEL 076-242-3175 FAX 076-245-3012  
金沢・新潟・富山・福井・長岡・長野

**HOKURYU** 北菱電興株式会社

取締役 小倉周一郎 (元一泉同窓会会長 泉丘7期)

代表取締役 社長 小倉 一郎 (泉丘40期)

本社 〒920-0362 金沢市古府3丁目12番地  
TEL (076) 269-8500(代) FAX (076) 269-8501

## 98人出席して30周年祝う

### 松任一泉 女性会員が記念茶会

松任一泉同窓会の設立30周年記念総会・懇親会が11月27日、グランドホテル松任で開かれ、参加した90歳の中46期から26歳の泉丘56期までの98人が世代を超えて地域のさらなる発展に尽くすことを誓い合った。会場では女性会員による記念茶会が催され、出席者に抹茶を振る舞って節目の総会を盛り立てた。

総会では福住孝会長（一中57期）が「めでたく30周年を迎えられたのも林繁夫初代会長（同44期）、板尾達雄2代会長（同54期）を中心に一中・泉丘の卒業生が育んできた理念のもと、互いに信頼し尊重し、心の絆を強くしてきた友情の賜物である。これからも心の和を大切に次の一步を踏み出そう」とあいさつした。この後、出席者全員で記念写真を撮った＝写真＝。

「松任一泉」の特長は懇親会の前に記念講演を聴くこと。今回は白山市在住の宮島昌克金沢大学理工研究域教授（泉丘27期）の「東日本大震災から学ぶ」と題する講演を聴いた。

懇親会では来賓の清水義博一泉同窓会会長（同22期）が30周年を祝福するとあいさつ、母校の村澤勉校長（同23期）も勉学や部活動



で活躍する後輩たちの姿を報告した。

続いて松任の役員や来賓による鏡割りが行われ、中山幸昌松任一泉同窓会副会長（同9期）の乾杯の音頭で酒宴に移った。恒例のビンゴゲームなど和やかな雰囲気の中で時が進み、最後に一中・泉丘の校歌を斉唱、福田裕監事（同18期）が中締めのあいさつに立ち「次の10年に向けみんなで協力して行こう」と呼びかけ、再開を誓い合って散会した。

（松本雅治＝同42期・記）



## 新人加え「光が丘一泉会」

5回目となる光が丘一泉会（9・9会）は例年通り9月9日、近くの金沢国際ホテルで開かれた。今年は新たに泉丘13期の北清一さん、横地昭果さん、村上哲さんが顔を見せ、出席者は19人となった＝写真＝。

最初に3人が自己紹介し、最長老の石田豊さん（一中51期）の乾杯の音頭で酒宴が始まった。ひとしきり高校時代の思い出や地域の話に花が咲いた後は、中野他喜夫さん（同52期）提案のカラオケ大会で一段と盛り上がった。瞬く間に予定の2時間半が過ぎ、一中・泉丘の両校歌を斉唱、源通さん（泉丘5期）が中締めのあいさつをして散会した。

（畝村邦夫＝泉丘11期・記）

清酒 **天狗毒**

株式会社 車多酒造

代表取締役 車多壽郎（泉丘11期）

取締役 車多寿子（泉丘40期）

白山市坊丸町60-1 TEL076-275-1165

特許・実用新案・意匠・商標 相談無料  
米・欧・中・韓・東ア 各国特許事務所と提携

 **百万石特許事務所**

代表弁理士 海野 徹（泉丘42期）

金沢事務所

〒920-0201 金沢市みずぎ1-230

TEL (076) 225-8430 FAX (076) 225-8431

URL: <http://100man-pat.jp>

小松合同支所

〒923-8566 小松市園町二-1

（小松商工会議所3階）

一中・泉丘 各期の集い①



◆金沢一中50期が今年も同窓会開く

金沢一中50期の同窓会が9月15日、KKRホテル金沢で開かれた＝写真＝。2年前に亡くなった西坂弥三郎幹事の「1年でも長く続けよう」の言葉を守って今年も開催したが、出席者はとうとう10人になった。便りには本人の病気はもとより、妻の看病・介護の文字が多く見られ「欠席は残念！」と記されていた。

一中の校旗を飾った部屋で円形に座り、まず亡き級友の冥福を祈って黙祷を捧げ、東京から参加の浅井敏郎さんの乾杯の音頭で宴会が始まった。酌み交わす杯の中で一人ひとりにこの1年間の出来事や変化を話してもらった。毎日の散歩で健康を維持、近くの同期生4人で続けているのんびり旅行、趣味に生きがいを感じている人など元気の源に励まされた。

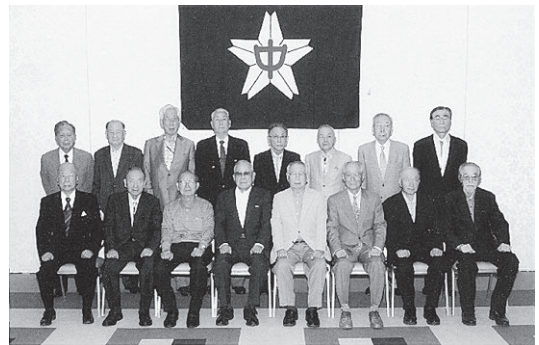
校歌や応援歌を歌った後、金石の相撲大会で同期の畠一平、高田外代次、南野清一の3代表が少年の部で優勝し、みんなで金石往還を凱旋した思い出話も出た。そんなこんなでアツと言う間に2時間余が経った。後2年で卒業70年、それまで同窓会を続けたいものである。(太田重雄・記)

◆一中51期・一櫻会が恒例の同窓会

金沢一中51期・一櫻会は平成23年度の同窓会を5月26日、金沢市大手町の「KKRホテル金沢」1泊で開催した。参加者は関東2人、関西3人、中部1人、地元10人の総数16人＝写真＝で、いつものように中野利男君の司会で始まった。

初めに141人の物故者に黙祷を捧げ、次いで会員名簿の現況調査に対して寄せられた高木繁君ら8人の礼状が紹介され、和田静夫君の乾杯の音頭で懇親会に入った。会は終始和やかに互いの再会の喜びを享受し合ながら進んで、アツと言う間に予定の終了時間を迎えた。まさに一刻値千金とも言える2時間余の交流であった。最後は中野君のリードで校歌、応援歌などを合唱し、宮野良雄君の一本締めで閉会した。翌日は朝食後、自由解散した。

最後に同期の皆さんにお知らせしたいのは、代表幹事の川原善一君が病床にあるのにもかかわらず、「幹事の一員としてぜひ皆さんを



お迎えしたい」との強い気持ちで出席されたことだ。参加者一同、川原君の「一櫻会や旧友を思う一途な情熱と深い友情」に対し、各位から彼への伝言依頼として「厚い謝辞」と「早期回復を願う言葉」があったことを書き添えておく。(園部哲三・記)

# 木村皮フ科クリニック

院長 木村 悟 (泉丘28期)

〒920-0348 金沢市松村4丁目412番地  
TEL (076)266-1515

大型門扉のパイオニア

## 株式会社 ハシモト門扉

代表取締役 雲野 泰自 (泉丘28期)

〒920-0356 石川県金沢市専光寺町そ80番地2  
TEL (076)266-0161 FAX (076)266-0162  
<http://www.hashimotomonpi.co.jp>



### ◆泉丘6期喜寿同窓会に丁度77人集う

泉丘6期・ふくせん会（会名は昭和29年泉丘卒業から）の喜寿（77歳）を祝う同窓会が6月2日、山中温泉「よしのや依緑園」で開かれた。平成16年の卒業50周年同窓会以来7年ぶりの開催で関東、関西地区からも駆け付け男性47人、女性30人の喜寿にふさわしい77人の集いとなった。

まず記念写真を写したが＝写真＝、早くもにぎやかなことこの上なし。宴会は元民放アナウンサー・福田政博君の名司会で始まり、これまた77人の物故者の冥福を祈り、辻貞夫会長が「久しぶりの同窓会だが、多くの皆さんの元気な顔が見られ嬉しく思う」と歓迎のあいさつを述べ、関西代表の毛利雅樹君の乾杯の音頭で酒宴となった。続いて関東代表の高浪之雄君が関東ふくせん会の近況などを報告した。

途中、同温泉芸妓による「山中節」の艶やかな舞の披露があり、一段と盛り上がった。ニックネームで呼び合い、いつものように高校時代や恩師のこと、家族や自分の健康のことなど話題は尽きぬ様子だった。

旅館の計らいで会場を変えることなく大広間でのカラオケも始まり、終宴を迎えたのは

一泉同窓会の創立120周年を記念する2つの看板が出来上がり、早々と10月15日の118周年記念総会・懇親会の会場で披露された。

「一泉同窓会」＝写真右＝は高さ72㍉×幅35㍉×厚さ4㍉のケヤキ板に文字を彫り、文字は金箔貼り。裏面に発起人＝中山一郎・泉丘10期卒、揮毫者＝氷田正男・一中54期卒、金箔施工＝蚊谷八郎・泉丘14期卒、刻字製作＝安野喜隆・同10期卒と関係者の名前が刻まれている。もう1枚の「一泉同窓会事務局」＝写真左

### トピックス 金箔貼りの看板完成

＝は高さ92㍉×幅32.3㍉×厚さ4㍉。ケヤキ板は安野さんが奥能登の古民家の上がりかまちに使われていたのを手に入れたもの。

この日、母校で行われた物故者慰霊祭の後、安野、蚊谷さんから清水義博一泉同窓会会長に贈られた。



4時間半後。校歌を高らかに歌い、村上信吉副会長が「次は2年後の卒業60周年と傘寿(80歳)を兼ねた同窓会だ。みんな元気で再会しよう」と締めて、名残を惜しみながらの閉会となった。

しかし、飲み・語り足りない面々は部屋へ帰ってからも集っていた。（島田 隆・記）

生コンクリート製造販売、土木・建築工事施工

**IK 高田産業株式会社**  
**株式会社 高田組**

代表取締役 高田 直人（泉丘28期）

本社 〒920-0043 金沢市長田2丁目4番8号  
港工場 〒920-0231 金沢市大野町4丁目レ103番1  
TEL (076) 263-6311/FAX (076) 263-6318

舗装工事施工、アスファルト合材製造販売  
産業廃棄物処理（下水汚泥焼却灰、がれき類）

**IK 株式会社 金沢舗道**

代表取締役 向井 健夫（泉丘28期）

本社 〒920-0043 金沢市長田2丁目4番8号  
港工場 〒920-0231 金沢市大野町4丁目レ103番1  
TEL (076) 223-4858/FAX (076) 263-6318



◆泉丘7期が「後期高齢者同窓会」

今年75歳を迎える泉丘7期は後期高齢者入学式と銘打った同窓会を5月12日、栗津温泉「のとや」1泊で行った。2年ぶりの集いで66人が出席した=写真=。

広部欣也君が司会、初めに水谷昭一泉同窓会副会長などこの2年間に亡くなった12人に黙祷を捧げた。続いて私・加茂が開会のあいさつ、村上喜久男、吉田紀幸、和田英夫の3君がめでたい謡曲「羅生門」を披露、金川琢雄君の乾杯の音頭で酒宴となった。

いつものように話が弾む中で関東代表の山崎利彦君が近況報告、高野潔、村上喜久男、村山潔君のリードで応援歌や校歌を大合唱して最高に盛り上がった。2年後に喜寿の同窓会を開くことを決め、元気に再会することを約して一次会を終えた。

場所を変えての二次会では山田茂君が改めてあいさつ、カラオケなどで再び盛り上がり、関東の米外喜彦君の締めで5時間余の大同窓会の幕を下ろした。(加茂正則・記)

◆関東泉丘9期が春の同期会

関東泉丘9期の平成23年春の同期会は、5月15日の正午から東京・浜松町の世界貿易センタービル38階の眺めの良い「東京会館 離宮飯店」レストランを貸し切り、「春の談話室」と称して30人が出席して開かれた。

日曜日の開催としたので、医師の岩上豊君

や弁護士杉原弘泰君ら平日では出席できない人も顔を見せ、開始前から大いに盛り上がった。記念撮影=写真=の後、東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げ、藤田美輝幹事の司会進行でにぎやかに会が進んだ。久方ぶりに参加した方々の近況報告の中でも、茨城県ひたちなか市にお住まいの深尾(岩本)外代美さんの「震度6」の被災体験談は、一同に3月11日の恐怖をよみがえらせた。予定の2時間半はあっという間に経ち、尽きぬ話は同じビル地階の二次会会場に移動して歓談の時が続いた。(木津克司・記)



◆関東泉寿会の新会長に金子君選出

関東泉寿会(泉丘10期)の平成24年新年会が1月29日午後、東京・新宿の日本出版クラブ会館で開かれた。1月の最終日曜日の恒例行事で今年は長瀬直義泉寿会会長ら金沢組の4人を加え総勢32人が出席した。

今年は大西忠関東泉寿会会長が久々に元気な顔を見せてあいさつし、会長に金子兵衛君を推薦したいと提案、全員一致で金子君が新会長に選出された。懇親会はウクレレ演奏や新舞踊の披露で盛り上がり、鍋谷汎君の「いしかわ観光特使」就任報告と続いて大窪紀吉君の中締めで閉会した。続いて館内レストランで二次会を開き、ここでも話が弾み和気満々のうちにお開きとなった。(大谷孝弘・記)

白石 歯科 医院

院長 白石 貴城 (泉丘28期)

〒920-0274 石川県河北郡内灘町向栗崎5-31  
TEL・FAX (076) 238-4188

薬剤師に相談できる店  
お肌のトラブル専門薬局

アート薬局

薬剤師 中村 康彦 (泉丘28期)

〒920-0035 金沢市中橋町11-12  
TEL(076)233-2406 FAX(076)233-2434  
【営業時間】午前10時～午後8時 休日/日祝祭日



## ◆関西泉寿会が2年ぶりに総会・懇親会

泉丘10期・関西泉寿会の総会・懇親会が6月26日、箕面市の「みのお山荘 風の杜」で21人が出席して開かれた＝写真＝。

2年毎の開催で、今年は東日本大震災や原発問題の影響か例年より参加者が少なかったが、総会では行事、会計、監査の各報告が承認され、役員改選では会長に板岡尚司君、副会長に馬場聡君、北山百合子さん、河島和子さん、会計に長谷川信夫君、監査に宮本チハヤ君が選任された。板岡新会長は「関西泉寿会は来年設立30周年に当たるので、特別同窓会を開きたい」と提案、参加者を増やして開催することになった。

続く懇親会は金沢から駆けつけた長瀬直義泉寿会会長のあいさつで始まった。すぐに歓談で盛り上がり、最後に校歌を斉唱、篠原博君の一本締めで終了した。部屋へ戻っての二次会も思い出話に花が咲き、深夜まで続いた。



翌日も好天に恵まれ、あじさいがきれいな古刹・勝尾寺を参拝、ホテルでの昼食後、来年の再会を誓って散会した。(宮本チハヤ・記)

## ◆泉寿会本部でも恒例の新年会

泉寿会(泉丘10期)本部恒例の平成24年新年会が2月11日、金沢市の「わかばやし別館」で32人が出席して開かれ、今年も元気に活動することを誓い合った。

形成外科・皮膚科・美容外科 医療レーザー脱毛研究所  
 **ひがしやまクリニック**  
 HIGASHIYAMA CLINIC

副院長 **東山 玲子** (泉丘28期)

〒921-8116 金沢市泉野出町1-19-20  
 TEL(076)280-7773 FAX(076)280-7750  
 E-mail htakujih@angel.ocn.ne.jp

母校・泉丘  
 高校2階の生  
 物準備室にあ  
 った丸テーブ  
 ル＝写真＝が  
 いらなくなり、



図書館棟1階の一泉同窓会資料室に運び  
 入れ保存することにした。

直径120センチ、高さ76センチ、4本  
 足の丸テーブルで、脚部のスチールラベ

**トピックス** **一中時代のテーブル保存**

ルに「昭和4年4月〇日納 山下家具製  
 作所 電話 墨田四三二番」と記されて  
 いる。

おそらく金沢一中の本多町校舎に納め  
 られ、昭和12年、同校が泉野出町の新校  
 舎に移転した際にも運ばれて泉丘高校に  
 受け継がれ、さらに同59年、5階建てに  
 立て替えられた時にも廃棄されずに残さ  
 れたもの。生物の実験用テーブルと見ら  
 れるが、このテーブルに覚えのある方は  
 同窓会事務局まで連絡を……。

初めに長瀬直義会長があいさつ、続いて昨  
 秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した埴生武彦君  
 の功績が紹介され、同クラスの久野絹枝さん  
 から花束が贈られた。また、宇都宮市から出  
 席の鍋谷汎君が先の関東泉寿会新年会の様子  
 などを報告した。懇親会は吉村雅彦副会長の  
 乾杯の音頭で始まり、美味しいすき焼きに舌  
 鼓をうち、いつものように2時間半もの和や  
 かな話の後、浅香以都子副会長の中締めで散  
 会した。(中山一郎・記)

株式会社 **浅田屋**  
 <創業1659年>

取締役管理本部長 **堀部泰生**  
 (泉丘28期)

〒921-8143 金沢市大額町8番地  
 TEL.076(298)1711 FAX.076(296)2277  
 www.asadaya.co.jp

浅田屋  
 金沢石亭  
 松魚亭  
 螢屋  
 六角堂  
 金沢国際  
 ホテル

## 泉丘高校初の修学旅行

戦後生まれの新しい学制が人々の間によく馴染み、世の中全体が次第に落ち着きを見せ始めた昭和20年代後半。日本各地の高校や中学校では、修学旅行（宿泊を組み込んだもの）の復活が教育の新しい試みとして、大きな話題となっていた。

泉丘高校でも昭和28年5月、待望の第1回修学旅行が行われた。3年生（泉丘6期）430名余が参加した関東方面への4泊5日。大正末期の旧一中時代に中止されて以来、じつに30年ぶりに復活したという“記念すべき修学旅行”でもあった。「3年生の喜びたるや一通りではなかった」と、当時の『いずみの原』は生徒らの期待の大きさを伝え、終戦から8年を経ての自主的で明るい雰囲気を紙面にみなぎらせている。

× ×

泉丘高校初の修学旅行は、どんな日程で行われ、実際にはどういう風だったのか。

前年の秋以来、修学旅行実施の是非や参加予定生徒らの希望アンケート、旅費などの事前調査が行われ、旅行社とも綿密な打ち合わせで臨んだ企画だったという。

5月15日～19日の4泊5日で、主な行き先は東京、日光、中禅寺湖、鎌倉など。

現在とは大きく違う時代背景から、思いがけぬアクシデントや無理な日程消化もやむなしとばかり、現在では考えられない意外性の連続だった。でも、いまではそれもかえって忘れられない思い出、修学旅行ならではの青春の1ページだったとなつかしむ人が多い。

引率の先生方と生徒全員が心と体力で課題を乗り越え、無事終了となった初回修学旅行の思い出を、泉丘6期の島田隆さんと大塚（旧姓上丸）容子さんに語っていただいた。

《島田 隆さん》

◎前年の27年10月、浜名久雄先生から後期生徒会長・村上信吉君に修学旅行の実施について

調べるよう依頼があり、他校の実施状況調査、生徒の希望、旅行会社との交渉などを行って生徒会から学校へ修学旅行の実施を提案した。当時、県内の高校で修学旅行を行っていたのはミッション（北陸学院高校）だけで、泉丘はさきがけだったと聞いている。日本交通公社（現JTB）が大いに乗り気で、旅費など代金の後払いを提案してくれ、そのおかげで参加できたという人も多かったのではないだろうか。旅行費用の積立をするようになったのは、その後の学年からかな。

## 男子東回り女子は西回り

◎男子は直江津から信越線経由の東回り、女子は米原から東海道線経由の西回りと、2コースに分かれての出発で、東京で合流するのかなと期待したが、最後まですれ違いでちょっとがっかりしたものだった。まだ男女共学が修学旅行にまで浸透していなかったのか、

## 実験的旅行で男女別行動 泉丘6期、4泊5日で関東へ

試験的な旅行で様子を見たのかもしれない。

◎4泊5日の修学旅行といえばさぞ豪華版と思いきや、うち2泊は車中泊。それも急行や指定席ではなく、一般客や他校の修学旅行と乗り合わせの満員列車で、長時間の立ちっ放しも当たり前だった。それでも嬉しくて、全員元気よく乗り切った。東京駅で駅長から、最近の修学旅行団の中でいちばん態度がよいとほめられ、うれしかったのを覚えている。男子は東大前・二葉館での2泊だった。 ↗



国会議事堂前での男子記念写真

メ◎東京の景色に、金沢と比較にならないスケールの大きさを感じて驚いた。皇居、国会議事堂、国会図書館などをめぐり、翌日の自由行動では丸の内、銀座、浅草を訪ねた。特に浅草ではストリップ劇場の大きな看板やサンドイッチマンの歩く姿が、田舎者の高校生には大きな驚きで印象に残っている。また鎌倉の大仏や鶴岡八幡宮、江の島などの定番コースもあの頃らしい良さがあったと思う。

## 往復夜行だが笑顔で帰宅

《大塚容子さん》

◎私たち女子は、夕方6時過ぎの夜行（一般列車）で金沢を出発。11時頃、米原に着き東海道線に乗り換えるまで、かなりの待ち時間があり駅前のパチンコ店（深夜営業していたのはそこだけ）で時間を過ごしたのを覚えている。パチンコはもちろん初めてで、今なら大いに問題ありだが、修学旅行の珍体験と

## 生徒会が調べて実施提案 旅行社が旅費の立て替えも

して忘れられない思い出になっている。

◎夜中零時半に乗り込んだ列車は超満員で、先生方も私たちも途方に暮れたが、そのうち他校の（修学旅行の）男子生徒が席を譲ってくれたりして何とか仮眠することができた。明け方、静岡を過ぎた頃、列車の窓から富士山が見えたときはみんな眠気も吹っ飛んで、大きな歓声を上げたものだった。

◎実験的な修学旅行というので、先生方がしきりに時間を計っておられたのを記憶して



女子グループのスナップ＝中禅寺湖

いる。鎌倉と江の島を遊覧した後、バスで東京に着いたのは夜。後楽園球場近くの旅館だっ

## 鎌倉・鶴岡八幡宮での女子記念写真



たが、大学生の先輩が私たち7人グループを銀座に案内してくれ、服部時計店や和光、森永のネオンを物珍しく見上げていたのをいまもよく覚えている。

◎翌日はバスで浅草や靖国神社など都内見学に出かけたが、前日来の疲れが出て、車中では大半の人が眠っていたと思う。楽しい中にも、時間的にもう少しゆとりがあってほしい、とは後日私たちの率直な感想だった。

◎3日目は中禅寺湖泊りで、湖水の冷たかったのが印象に残っている。翌日は華厳の滝、日光東照宮などをめぐり、上野から夜行列車に乗り翌朝金沢に着いた。みんな疲れていたものの笑顔で家路についたのが、50年以上経ったいまでも、つい昨日のようになつかしい。

×

×

翌29年度の修学旅行は、この28年度の経験と反省をもとに計画が練り直され、春休みに男女同行で関東・四国の2コースからの選択と変わり、30年度からは南紀奈良（後に関東）・九州の2コースが定着したのだった。

いまは飛行機で、遠く韓国や台湾まで出かける現代高校生の修学旅行であることを思うと、まさに隔世の感。泉丘高校の歴史のひとつこまと言うにふさわしい。

## 行列で「一泉魂」をアピール

平成23年度の「一泉行列」が8月31日、一中本多町校舎跡地の金沢歌劇座前から泉野出町の泉丘高校までのコースで行われ、参加したOB約60人のうち清水義博一泉同窓会会長ら約30人が250人の現役生と共に完歩して「一中魂から泉丘魂」の継承をアピールした=写真=。

歌劇座前の出発式には渋谷亮治元同窓会会長（一中54期）も顔を見せ、一行を見送った。また、泉丘30期の小原繁代表ら4人は10月15日の一泉同窓会総会・懇親会のプラカードを



持って参加、総会・懇親会への参加を呼びかけ主幹事期らしさを示した。最高齢参加者は今年も一中50期の太田重雄さん（86歳）だった。

### 一中・泉丘 各期の集い②



#### ◆泉丘11期35ホームがクラス会

泉丘11期35ホームのクラス会が7月12日、金沢市大工町の割烹「河童」で開かれた。昨年に次ぐ2回目の開催で15人が出席=写真=、高校時代の思い出話に花を咲かせた。

理系クラスで男子ばかり52人。そのうち36人から返信があり、幹事がまとめた消息プリントが配られた。みんな一瞬静まりかえって読みふけた。3分間スピーチも最初は健康に関する話が多く、中には東日本大震災で松

任の実家に1ヵ月ばかり避難した者、大学での研究に苦勞している者など様々。35ホーム時代にタイムスリップし、「そうだったのか」と驚く話も多かった。なぜかこのクラスはラグビーが強く、部との試合でも負けないほど。昼休み時間に全員で熱中していたことが思い出された。

カラオケバーでの二次会も盛り上がり、アツという間に深夜になった。次回幹事を決め再会を約して散会した。（島田裕正・記）

#### ◆泉丘13期のボランティアが海岸清掃

泉丘13期有志による「36会ボランティア倶楽部」が5月29日、クリーンビーチINはくさん会場の徳光海岸に集って、海岸清掃に汗を流した。

あいにくの雨だったが女性3人を含む11人が参加、「36会」の会旗を立ててアピール、全体で千人以上が奉仕作業に当たったせいか、1時間ほどでゴミだらけの砂浜が見る見るきれいになり、浜昼顔の小さな花もうれしそうに見えた。（福井敏雄・記）



株式会社 ヤマト 醤油味噌

代表取締役社長 山本 晴一 (泉丘28期)

取締役工場長 山本 晋平 (泉丘30期)



本社 〒920-0331 金沢市大野町4丁目イ170  
実店舗・ひしほ蔵 TEL076-268-1248 FAX076-268-1242  
TEL076-268-1210(ひしほ蔵専用)  
東山直売所 〒920-0831 金沢市東山1丁目6-10  
TEL076-251-2235

<http://www.yamato-soysauce-miso.co.jp/>

## 八木税務会計事務所

税理士 八木 俊徳 (泉丘28期)

〒920-0054 金沢市若宮1-184 USビル2F  
TEL(076)223-6155(代) FAX(076)223-6156  
<http://www.e-adviser.jp/yagio/>



#### ◆関東緑窓会（泉丘12期）に39人集う

関東緑窓会（泉丘12期）の23年度同期会が6月5日、東京・池袋のホテルメトロポリタンで正午から開かれた。首都圏と金沢、宝塚、静岡から39人が集い、古希を迎える年に初の昼間開催はおおむね好評だった。

村上の司会で始まり、矢部暢邦幹事代表の開会あいさつ、続いて同期の物故者と東日本大震災の被災者へ黙祷を捧げた。懇親会は藤野公望前年度幹事の乾杯の音頭で幕が開いた。料理は東北産の安全野菜やアイナメを使った被災地支援にふさわしいホテル特製メニューがコースで出された。また、差し入れの日本酒、焼酎、ワインもあって話しが大いに弾んだ。初参加や遠方からの級友のあいさつに盛り上がり、時間も迫るうち、大きな輪になって校旗をかざした岩倉誠治さんのリードで校歌を歌った。ようやく古川宏幹事の中締めとなり、記念撮影をして再会を誓って散会した。

30分ほど予定時間をオーバーしていたが、まだ陽が高く、誘い合ってホテル内や池袋駅周辺で二次会、三次会が行われた。

板野美津子幹事が発表した翌年の幹事には、矢部、板野、村上に新しく江尻弘さんを加えた4人でお世話することになった。

また、一泉同窓会本部がいち早く呼びかけた東日本大震災復興支援の義援金に3万円を振り込んだ。  
(村上与恵・記)

#### ◆泉丘17期が4年半ぶりに同窓会

泉丘17期の「17会同窓会」が5月27日、金沢駅前のANAクラウンプラザホテル金沢で開かれた。4年半ぶりで関東の14人、関西の11人をはじめ全国から98人（うち女性26人）が出席して大いに盛り上がった＝写真＝。

最初に48人の物故同期生と、併せて東日本大震災で犠牲となられた方々に黙祷を捧げ、続いて小堀幸穂君が歓迎のあいさつ、大森和子さん（理系女子世話人）の乾杯の音頭で和やかな懇親の宴に移った。

歓談の合間に小杉誠一、越田昭、山田建夫の3君が中心となってこの日午前中に開いたゴルフ大会の表彰セレモニーを行った。ゴルフには20人が参加、優勝の若村弘君、準優勝の松田敏夫君、3位の済田良英君に大きな拍手が送られた。また、山越茂樹君と横山絹子さんによるビンゴゲームが繰り広げられ、参加者一同楽しいひと時となった。その後も会員の近況報告、「関東17会」の開催案内などと続いた。最後は合唱部で活躍した渡辺満君のリードで校歌を斉唱、一泉同窓会幹事の嶋谷潤一郎君の一本締めで終宴となった。

(福田雅幸・記)



有限会社

川田美術陶板

代表取締役 川田裕康（泉丘28期）  
〒924-0843 石川県白山市安吉町198番地  
tel.076-274-1018 fax.076-274-1023

【陶板総合】 <http://www.touban-art.com>  
【表札】 <http://www.hyosatu.net>  
E-mail [kawabi@touban-art.com](mailto:kawabi@touban-art.com)

永野印刷株式会社

専務取締役 永野琢也（泉丘28期）

〒920-8221 金沢市御供田町イ-9  
TEL076-237-5775 FAX076-237-0030  
<http://www.nagano-net.co.jp/>

生花仲卸  
(有)香楽園生花市場

代表取締役 村松義規（泉丘28期）

〒920-0841 金沢市浅野本町2-23-28  
TEL (076) 251-2225  
FAX (076) 251-2310



◆泉丘18期が「昭和の日」同窓会

泉丘18期・おはこ会の13回目の同窓会が4月29日、金沢駅前のガーデンホテル金沢で開かれた。昨年夏に開催してまだ半年余だが今後、毎年祝日の「昭和の日」に日帰り同窓会を開くことを決めた第1回目。恩師の普神貴行、安高徹の両先生を迎え、55人が出席した＝写真＝。

板谷民洋君の司会で始まり、今回の代表幹事の私・石田があいさつ、東日本大震災の犠牲者と亡き級友に黙祷を捧げ、安高先生の音頭で乾杯して酒宴に入った。

昨秋、一泉同窓会の副会長に就任した新村康二君のあいさつ、次期幹事の縄野勉君の引継ぎ宣言、荒磯千舟君の一泉同窓会報告、関東おはこ会の山本星子さんからのこの秋に開催する関東おはこ会の概要・出席依頼と続き、いつものように懐かしい話に花が咲き、2時間余のにぎやかな宴席を過ごした。

来年のこの日の再会を約してお開きとなったが、ほとんどが二次会へと流れ深夜までエネルギーが爆発し続けた。(石田憲二・記)

◆関東おはこ会の総会に43人

関東おはこ会(泉丘18期)の第5回総会・懇親会が10月22日午後、東京・新宿のホテル・ハイアットリージェンシー東京で開かれた。金沢から4人、いわき市、日立市、静岡市と

長野県からそれぞれ1人が駆け付け、総勢43人参加＝写真＝で旧交を温めた。

総会は長元正春会長のあいさつで始まり、役員改選の結果、会長・長元正春、副会長・山本星子、会計・新村喜弘、小関彩子、会計監査・荒屋正年、事務局・藤島寛仁、原俊道の皆さんが選ばれた。

懇親会では、一泉同窓会が東日本大震災の被災地・宮城県石巻市へドーム型診療所を寄贈した話題から宮越宏之君と川瀬信秀君が震災体験を話し、同期物故者への黙祷とあわせ身が引き締まる思いだった。

静岡市から出席の三島文夫君の乾杯の音頭で酒宴に入り、当会恒例のエンターテイメント・吉室誠君のマジック、岡田秀樹君の相撲甚句とプロはだしの芸を披露してもらい、ト



りとして落語家・吉原朝馬師匠の軽妙な小噺を聴かせていただき、大いに盛り上がった。さらに金沢から出席の荒磯千舟君が一泉同窓会や金沢おはこ会について報告、最後に今戸詩美さんの指揮で校歌を合唱、山本星子副会長の閉会の辞で名残を惜しんでの幕となった。

その後、荒屋正年君(会場ホテルの社長)のはからいで、宴会場をそのまま二次会会場とし、カラオケなどでもう一度盛り上がり、散会したのは5時間後の9時半過ぎとなった。

(藤島寛仁・記)

越島久弥法律事務所

弁護士 越島久弥 (泉丘8期)

〒920-0902 金沢市尾張町1-9-11-203  
TEL (076) 222-1213(代)  
FAX (076) 222-2467

中村吉輝法律事務所

弁護士 中村吉輝 (泉丘8期)

〒920-0911 金沢市橋場町1-29  
レジデンス兼六1階  
TEL (076) 262-3823  
FAX (076) 221-0814

元地 健法律事務所

(関西一泉同窓会事務局)

弁護士 元地 健 (泉丘13期)

〒530-0054 大阪市北区南森町1-3-27  
南森町丸井ビル8階  
TEL (06) 6364-6793  
FAX (06) 6364-6176



◆泉丘22期の還暦同窓会に95人参加

泉丘22期が9月3日、湯涌温泉「かなや」で還暦同窓会を開いた。この日は母校の63回目の創立記念祭最終日で「野外劇」が予定されていた。久しぶりに劇を観て、後輩たちから元気を頂いて「かなや」に集合する企画だったが、残念ながら台風12号の影響で野外劇は順延となった。

当日は恩師・楠禎一郎先生（数学）と普神貴行先生（国語）のご出席をいただき、台風で3人が欠席となったが男子74人、女子19人の合計95人の集まりとなり、記念写真の撮影＝写真＝からスタートした。

懇親会は永瀬喜子さんが司会、代表幹事の諸野普君から出席者へのお礼の言葉があり、普神先生のあいさつ、楠先生の乾杯のご発声で開宴した。途中のアトラクションでは還暦に合わせた赤のドレスの永瀬さんのフラメンコ・ダンスも飛び出し、和やかな中で多くを語り、飲み、歌い忘れがたい楽しいひと時となった。最後に応援団副団長の嶋範也君のリードで校歌を斉唱、一泉同窓会の林隆信副会長の中締めで一次会を終えた。

別会場の二次会では金沢勇こと西田啓一君のワンマンショーで盛り上がり、語らいの場は夜中3時頃まで続いたとか。

翌4日は金沢ゴルフクラブでコンペが行われ、この日が60歳の誕生日だった佐伯善機君がベスト・グロスで優勝した。また、アメリ

カで富士通子会社副社長を務める市川俊介君も巧みなプレーを披露、アリゾナの砂漠での精進の成果を見せつけた。（清水義博・記）

◆泉丘39期が卒業後初の同窓会

泉丘39期は8月14日、卒業後四半世紀を経て初めての同窓会を金沢市の兼見御亭で開いた。お盆帰省もあって予想を上回る62人が集った＝写真＝。

前半は会場を4部屋に仕切ってクラス単位での同窓会を演出した。部屋ごとにクラス幹事による乾杯でスタート、級友と25年ぶりの再会が多く自己紹介から始める部屋もあった。途中で代表幹事の北川雅一郎君と事務局の私・中村が秋の一泉同窓会への参加をお願いして回った。

後半は各部屋のふすまを開け放ち、一つの会場とした。とたんに雰囲気が一変、文系、理系のわけ隔てなく一気に盛り上がった。あちこちで幾つもの輪ができ、高校時代の思い出話に花が咲いた。何の企画も用意してなかったが、あつという間にお開きの時間となり、副代表の成瀬亮太郎君の一本締めで一次会を終えた。

初同窓会を機に次回クラス会や関東、関西での再開を約束するグループも出来た。同期の交流が活発になるのはうれしいことで、これが一泉同窓会につながることを確信して、二次会はそれぞれで夜の街へ消えていった。

（中村孝治・記）



敦賀法律事務所

弁護士 敦賀彰一（泉丘20期）

〒920-0902 金沢市尾張町1-5-25  
TEL (076)261-8500  
FAX (076)261-7300

押野法律事務所

弁護士 押野 毅（泉丘29期）

〒920-0902 金沢市尾張町1-9-11  
尾張町レジデンス304号  
TEL(076)234-7870 FAX(076)222-7870

北川共同法律事務所

弁護士 北川秀二（泉丘30期）

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-2  
朝日ビル3F  
TEL(03)3239-7175 FAX(03)3239-7176  
E-mail kitashu@mtc.biglobe.ne.jp

◆泉丘14期が恒例の忘年会と新年会

泉丘14期「一四会」恒例の忘年会が12月14日、金沢市主計町の鍋割烹「みふく」で35人が出席して開かれた。蚊谷八郎会長があいさつ、名物のカキ鍋に舌鼓をうった。今年も宴席に2人の芸妓を呼び、華やいだ。

また、明けて2月14日には東山の「ちょう吉」で新年会を行った。新年会も日時、場所共に決まりで23人が集った。自慢の焼き鳥と生ビールで話しが弾み、「今年も他の期に負けないぞ」と誓い合った。(宍戸 範・記)

◆泉丘41期が6年ぶり3回目の同窓会

6年ぶりで通算3回目となる泉丘41期の学年同窓会が平成24年1月2日午後、金沢ニューグランドホテル銀扇の間で開かれた＝写真＝。

参加者は男性39人、女性22人の計61人で、石田毅志郎先生をはじめ中橋大通先生、能澤正夫先生、室木直彦先生と4人の恩師をお迎えしてにぎやかな宴会となった。昨年の金沢市議選に立候補して議席を得た喜多浩一君も、互礼会に飛び回るスケジュールを調整して顔を出し、座は大いに盛り上がった。

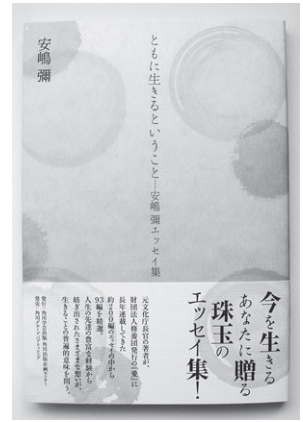
参加者のうちおおむね半数は正月帰省の県外組み。また、地元在住でも卒業以来初めて顔を見せた人もあり話が弾んだ。昼過ぎに始まった一次会を締めた後も名残が尽きず二次会、三次会と粉雪のちらつく正月の街を回り



歩いた。

みんな不惑を過ぎてますます元気な様子。男たちは本厄、前厄の年だが今年も良い1年になりそうだ。(山本正樹・記)

一中47期の安嶋 彌(やすじま・ひさし)氏＝旧松任市出身、東京・世田谷区等々力在住＝からこのほど、一泉同窓会に『ともに生きるということ』と題するエッセイ集＝写真＝が贈られてきたので、「一泉文庫」の蔵書とした。



トピックス

一中47期・安嶋さん  
エッセイ集を寄贈

一中から四高、東大と進み、1946年文部省入省、初等中等教育局長などをへて1975年文化庁長官、1977年から89年まで宮内庁東宮大夫を務めた著者が、財団法人修養団発行の月刊誌「愛」に長年連載してきた約200編のエッセイの中から93編を精選。人生の豊富な経験から紡ぎだされたさまざまな想いが、生きることの普遍的意味を問いかけている。

安嶋氏は日本エッセイストクラブ会員で、アララギ系の歌人でもあり『葉桜』『晩花』『过客』などの歌集のほか、詩集『水映』などがある。

金沢ルネッサンス  
法律事務所

所長 弁護士 清水雅志 (泉丘31期)

〒920-0912 金沢市大手町2-24  
ダイヤパレス大手門8階  
TEL(076)235-3040 FAX(076)235-3041

新保法律事務所

弁護士 新保義隆 (泉丘33期)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7  
NBF 日比谷ビル5階  
TEL (03) 5511-1511  
FAX (03) 5511-1512

織田法律事務所

弁護士 織田明彦 (泉丘34期)

〒920-0932 金沢市小将町8-36  
TEL (076)231-5980(代)  
FAX (076)231-5938



## 投稿二題

野球は甲子園、相撲は金沢。野球や相撲を志すものにとってこの二つの場所は『聖地』といっても過言ではない。甲子園大会は昨年までで93回、高校相撲金沢大会は95回を数え日本最古の大会と全国放送でも紹介された。昭和38年、私は幸せにもこの二つの大会に接することが出来た。

泉丘高校野球部は4回目の甲子園出場を果たし、相撲部は卯辰山での47回大会で能上宏(旧姓水本)君が個人優勝した。私は相撲部マネージャーとして土俵下でこの歴史的瞬間を目にすることが出来、50年近く経った今も昨日の事のように鮮明に思い出される。

大会前、能上君に相談せずに先輩方に手紙を出し、東京から宇野六朗(12期)、升田克良(14期)の両先輩に来ていただいた。直前には立命館大学で二年連続学生横綱になられ

\*\*\*\*\*

平成23年、私たち日本人はこの年を象徴する漢字に「絆」を選びました。その背景には千年に一度といわれる未曾有の大震災があったことは疑いもありません。人と人をつなぐもの、英語で言えば bond、tie などでしょうか。relationship であり、friendship であり、unity です。このように絆という漢字は、実はいくつもの意味を持っています。

118周年の伝統ある一泉同窓会の総会・懇親会の幹事を務めた私たち泉丘30期にとってもこの年は、35年ぶりに互いの絆を確かめ合う年となりました。どうすれば魅力ある会になるのか、共同作業は困難の連続でした。同級生なのに初めて話をする人もいて手探りからのスタートです。

最初に顔を合わせたときは、各人がパズルの小さな1ピースのようでした。一つとして同じ模様のものはなく、そこに何が書いてあるのか、何を主張しようとしているのか、そのピースは必要なのかなどまったく分からな

## 高校相撲金沢大会に思う

泉丘16期 田蔵 弘



金沢市長(32期)が出場したように、近年は人気の野球部やサッカー部からも名乗りを上げる人が相次ぎ、ありがたく思っている。出場選手を始め学校当局、石川県相撲連盟の方々など、すべての関係者に心からお礼申し上げたい。

相撲につながる多くの先輩、後輩、友人は我が人生の縦糸といえる。人生ぶつかり稽古、勉強もスポーツも好きなことを三年間やりきってほしいと現役生にエールを送る一人である。

## 投稿二題

い状態でした。しかし、私たちは何度も何度も集い、議論を重ねながら一つ一つの問題を解決していきました。

総会が無事終了して「大好評」と言う大きなパズルが完成したとき、無駄なピースは一枚もなく遠くにあったピースもまた、調和のために全部つながっていたことに気づきました。そして一つ一つのピースを張り合わせる「糊」の役目を果たしてくれたのが

「泉丘スピリット」だったのです。不可能に思えた目標がどんどん現実味を帯びてくるのは素晴らしいことです。何も不可能なことは無いと思っていた高校生時代にみんな戻ったような体験でした。

私たちは桜の花の美しい春の日、泉丘高校の校門をくぐった瞬間に、この「不思議な力」を手に入れたのかも分かりません。絆と泉丘スピリットを再確認した平成23年でした。

## 平成23年は「絆」確認の年

泉丘30期 小杉 千里



今から64年前の昭和23年、男女共学の新制金沢泉丘高校の発足と同時に女子ソフトボール部が誕生した。同部はその後6年間にわたって北陸3県の雄として君臨、特に同26年には全日本ソフトボール大会で3位に輝いた＝写真＝。創部当初はグローブが揃わず、ほとんど素手で練習していたという泉丘高校女子ソフトボール部が栄光をつかむまでの様子を紹介しよう（文中氏名はすべて旧姓）。

× ×

当時のメンバーは、樋詰祥枝さん（泉丘3期）なくして女子ソフトボール部の活躍は語れないという。旧制第一高女から泉丘生になった樋詰さん（金沢市弥生1丁目）は、小さいころから近所の男の子に交じてゴロベースを楽しむ行動派。部長の広瀬百合子教諭の勧めもあって、ソフトボール部を誕生させた。道具は2本のバットと捕手と一塁手のミットだけ。試合には素手で臨んだがたちまち県1になった。相手チームは樋詰投手の剛速球と変化球にキリキリまいで、三振の山だったからだ。

翌24年には後に活躍する西原嶺子、小川智恵子、永里美沙子（同4期）が入部、部員も15人ほどになった。しかし、指導者に恵まれず主将の樋詰さんが自ら作戦やシートノックを行い、たまに野球部員が助けに来てくれる有様。それでも「絶対勝てるから」を合言葉に練習はさらに熱をおび、夏休みも返上、暗くなってボールが見えなくなるとベースランニングに切り替え、帰宅はいつも8時過ぎだった一と樋詰さんは往時を振り返る。

当時の高校スポーツ界あこがれの地は「野球（男子）は甲子園」「ソフトボール（女子）は西宮」。泉丘女子ソフトボール部は猛練習

### 全日本ソフトボール大会出場メンバー

第1回大会(昭和24年)			第3回大会(昭和26年)		
監督・辻藤太郎(事務職員)			監督・吉本 明教諭		
主将	メンバー	学年	主将	メンバー	学年
◎樋詰 祥枝	2	投 鈴木 弘子	2		
捕 西原 嶺子	1	捕 西原 嶺子	3		
一 小川 智恵子	1	◎小川 智恵子	3		
二 大窪 喜代子	1	二 西家 康子	1		
三 前田 喜代子	2	三 加藤 アヤ	1		
遊 永里 美沙子	1	遊 永里 美沙子	3		
左 寺地 為美子	2	左 広瀬 静江	1		
中 野白 輝子	2	中 中川 留美子	2		
右 荒井 可夜子	1	右 荒井 可夜子	3		

が実り24年、25年と連続で西宮球場で開かれた全日本ソフトボール大会に北陸3県代表として出場、25年には国体にも初出場した。

## 昭和26年、全日本3位の快挙 泉丘女子ソフトボール部栄光の道 夏休み返上での猛練習実る



26年春に泉丘を卒業した樋詰投手はノンプロの強豪チームからスカウトされたが、地元就職して競技を続けた。

その年、3年生になった西原らは野球部と兼務ながら監督に吉本明教諭を迎え部員も18人に増えて練習に力が入った。そして3年連続出場の西宮で、創部4年

目にして全国3位の快挙を成し遂げた。

昭和26年10月10日付の学校新聞「いずみの原」には次のような記事が掲載されている。

9月23日、富山日清紡球場で第6回国体ソフトボール予選が華々しく行われた。夏の全日本大会で全国3位となった泉丘は相変わらずの強豪ぶりを発揮。名門・福井県の勝山高校を2-0のシャットアウトで破り、再度広島で催される国体への出場権を得た一と。

泉丘高校女子ソフトボール部のOGは、卒業後も年に一度集って交流会を続けている。「当時の思い出話と共にいつも出る話題は、母校に新たなナインの誕生だ」。樋詰さんも西原さんも願っている。

## 文化・運動部 OB 会だより



## 泉泳会 母校プールで同窓会

泉泳会のプールサイド同窓会が8月13日午後、母校のプールで開かれ、21歳から82歳までの約30人が青春時代を思い出しながら水しぶきを上げて旧交を温めた。夜には会場をホテルに変えて2年ぶりに総会も開かれ、役員改選などが行われた。

プールサイド同窓会は向川勇会長（泉丘1期）があいさつした後、会員4人が古式泳法を披露した。昭和35年のローマ五輪200メートル平泳ぎで銀メダルを獲得した大崎剛彦さん（同9期、日本マスターズ水泳協会会長）も駆け付け、力強い泳ぎを披露した。参加者たちはスイカをバトンにしたリレーや4、5人が肩につながって水中を歩く「ムカデ競争」などを楽しんだ。

また、夜には金沢駅前のガーデンホテル金沢で総会・懇親会が開かれ、役員改選で石田憲二さん（同18期）を新会長に選んだ。また、関東地区委員に白尾三樹さん（同7期）、関西地区委員に大崎さんが決まった。

続く懇親会では向川前会長に記念品を贈呈、白尾さんの乾杯の音頭で酒宴に入り、現役時

代の思い出話に花を咲かせた。最後に参加者で記念撮影＝写真＝をし、佐々木康富副会長（同21期）の閉会のあいさつで2年後の再会を約して散会した。

（宮西外志男＝泉丘9期・記）

## 野球部 OB 会 甲子園出場へ支援

一泉野球部 OB 会の第14回総会が8月12日、金沢エクセルホテル東急で35人が出席して開かれた＝写真＝。

はじめに物故者の冥福を祈り黙祷を捧げ、続いて宮地治会長（泉丘23期）が議長に就き22年度の事業と決算を報告、23年度の事業計画と予算案が承認された。

懇親会では宮地会長があいさつ、山崎昭一郎顧問（同4期）の発声で乾杯して酒宴に入った。今回は甲子園に出場経験のある先輩が多数出席され、徳光重希さん（同6期）、小



森勝範さん（同16期）、野市幸男さん（同）、中尾治郎さん（同17期）、山本和行さん（同）らが当時の思い出を語り、久方振りの甲子園出場に向けて現役野球部を支援していくことを誓った。

最後に全員で校歌を斉唱、野々市孝顧問（同10期）の閉会のあいさつで散会した。

（谷端時宗＝泉丘43期・記）

## 高木法律事務所

弁護士 高木利定（泉丘34期）

〒920-0912 金沢市大手町10-19  
長岡ビル1F  
TEL(076)234-7117 FAX(076)234-7116

## 木梨・長原法律事務所

弁護士 長原 悟（泉丘39期）

〒920-0912 金沢市大手町7-34  
TEL (076)222-2820  
FAX (076)222-2672

## さくら共同法律事務所

弁護士 松村昌人（泉丘40期）

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7  
NBF 日比谷ビル16階  
TEL(03)5511-4413 FAX(03)5511-4414  
Eメール matsumura@sakuralaw.gr.jp

## 桜美会美術展 多彩な作品82点を展示

第39回一泉桜美会美術展が5月24日から29日まで、金沢21世紀美術館で開かれた。今年は一中、泉丘の卒業生や在校生の作品82点が展示され、大勢の同窓生や一般市民が鑑賞に訪れて連日にぎわった=写真=。

今春、96歳の高齢を理由に退会された村田尚一さん（一中39期）が元気なときにカナダのビクトリア市を訪れて描いた油絵「ブッチャートガーデン」が招待作品として展示されたほか、荒々しい岩場を墨の濃淡で表現した三須徹さん（同47期）の水墨画「流石」、院展会員・薄波靖子さん（泉丘6期）の日本画「安由の風」などの力作が来場者の目を引いた。このほか泉丘高校在校生20人と指導の協谷内里恵先生の油絵が会場を彩った。



### ◆35回目の桜美会小品展も賑わう

「一泉桜美会小品展」が10月7日から12日まで、金沢市泉野出町4丁目のグリーンアーツギャラリーで開かれ、同窓生だけでなく一般市民も訪れて賑わった。

35回目を数える小品展はその名の通り、絵画なら10号から20号までが中心。今年は34人が44点の作品を展示した。ギャラリーは母校の近くなので、鑑賞後に母校に寄る人もあった。

## OB 講演会から

### 進路や生き方アドバイス 社会人と語る会で5先輩

後藤尚彦さん



栗森世里奈さん



青柳 充さん



斉田紀子さん



北 雅之さん



島村千佳教諭



各界で活躍する泉丘高校出身の先輩から経験談を聞き、今後の進路や生き方の参考にする平成23年度の「社会人と語る会」が11月3日午後、2年生を対象に啓泉講堂で開かれた。

パネリストとして招かれたのは北國新聞社政治部の後藤尚彦記者（泉丘41期）、公立つぎ病院整形外科の栗森世里奈医師（42期）、三重大学大学院生物資源学研究科の青柳充准教授（同）、りべるて・えがりて法律事務所（東京）の斉田紀子弁護士（44期）、北陸電力石川支店電子通信課の北雅之さん（同）の5先輩。コーディネーターは例年泉丘高校出身教諭が務めており、今年度は島村千佳教諭（38期）が担当した。

5人は①自己紹介に続いて②高校時代の過ごし方③現在の仕事に就いた経緯④勉強の

仕方一などについて順にアドバイスした。

質疑応答では、生徒たちからも進路決定の参考にするため勉強だけでなく、会社や業界の様子など熱心な質問が相次ぎ有意義な「語る会」となった。

## 戸水法律事務所

弁護士 辻 明士（泉丘44期）

〒920-0911 金沢市橋場町1-29  
レジデンス兼六2階  
TEL(076)262-3410 FAX(076)262-2898

## 岡田法律事務所

弁護士 中西祐一（泉丘46期）

〒920-0902 金沢市尾張町1-9-11  
尾張町レジデンス604号  
TEL(076)232-1616 FAX(076)232-1599

## いぶき共同法律事務所

弁護士 林 桜子（泉丘46期）

〒920-0902 金沢市尾張町1-2-32  
キャッスルハイム尾張町601  
TEL(076)255-3401 FAX(076)255-3402

23  
年度  
一泉  
賞

川端洋平君



富田真由さん



亀田安土君



山路直人君



伊藤大樹君



### 3個人と2団体に贈呈

平成23年度「一泉賞」が3月2日の全日制卒業式の席上2人と2団体に、同4日の通信制卒業式で1人に清水義博一泉同窓会会長から贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。同6年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。

今年度の受賞者は次の皆さん。

◆川端洋平君 陸上部の中長距離ランナーとして徹底した健康管理と練習に打ち込み、他の部員の良い模範となった。3年次には全国高校総体陸上競技男子1500メートル決勝に進出（10着）した。品行方正で学業においても努力を惜しまず、優秀な成績を収めた。

◆富田真由さん 文才に秀で散文のみならず韻文にも長ずる才媛で、文芸部の中心として1年次から県、北信越、全国大会で活躍した。中でも2年次には第13回松山俳句甲子園で優秀賞（全国個人2位相当）に輝いた。清楚で誠実、常に他の範となる生徒である。

◆文芸部部长・亀田安土君 2年次に第13回松山俳句甲子園に山口敦己君、富田真由さん、坂江早織さん、大野莉佳さんの5人でチームを組んで出場、リーダーとして獅子奮迅の活躍を見せ、全国71校103チームの中で団体3位となった。また、県高文連文芸専門部の活動においても常に中心的人物として、重責を担った。

◆ESS部部长・山路直人君 ESS部の部長としてまとめ役に徹すると共にリーダーシップを発揮、各種大会で個人だけでなく泉丘高校全体として素晴らしい成績を残した。特に2年次に中屋雄太君、山下颯太君、郷原和樹君の4人で出場した第5回全国高校生英語ディベート大会で団体3位（全国64校が参加）の好成績を収めた。

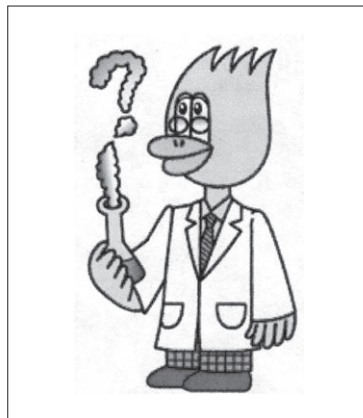
◆伊藤大樹君 2年次は会計、3年次は会長と2年間にわたり生徒会活動でリーダーシップを遺憾なく発揮した。また、学業においても優秀な成績を収め、大学への進学も決まった。指導力、発言力、実行力に富み、通信制の模範生でもある。

トピックス

### マスコットは泉ちゃん

泉丘高校のマスコットキャラクターが在校生の話題になっている。「泉(せん)ちゃん」=イラスト=と言う名前で、2年生の美術部員・砂山優美さんがデザインした。

北國新聞社の学校情報サイト「いしかわの高校広場」の特別企画に応募して創られたもので、母校・泉丘が誇る看板のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）をアピールするため、科学者の姿をしている。

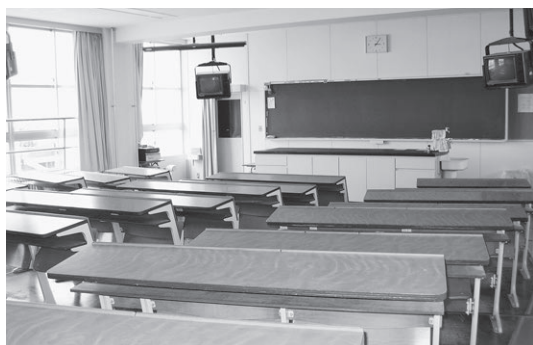


鳥をデフォルメしたのは、泉丘生が常に上に向かって羽ばたく心意気を表わしており、より近親感が湧くようにネクタイとズボンには制服と同じ。

彼の夢はいずれ世界的に有名な科学者になることで、いつも周りの事象に対し疑問を持ち、納得がいくまで考える。フラスコから出る煙が？マークは考えている時。

年齢は16歳。少しでも多くの泉丘生が彼に負けないように勉強に取り組んでほしいとの願いが込められている。

## 母校だより



### 習熟度別授業を細分化

ニュースーパー  
ハイスクール 難関大合格増へ

石川県教委は学校全体の学力を底上げし、国際社会で活躍できる人材の育成に向け、泉丘など県内5高校を「いしかわニュースーパーハイスクール (ISH)」に指定した。24年度入学生が対象だが、泉丘では先行実施として24年度の2・3年生から、習熟度別授業をはじめとする独自のカリキュラムを取り入れ、旧帝大など難関大学の合格者増を目指す。

学校側の説明によると、2年生から文系、理系に分かれる普通科の全クラスを対象に習熟度別授業を展開する。泉丘ではすでに習熟度別授業を行っているが、さらに細分化、少人数によるきめ細かな学習指導を目指す。特に文系の数学、理系の国語の指導を強化し、幅広い知識に裏づけられた総合力を身につけられるように指導する。

#### 特別教室にも冷房装置

また、大学教授や企業トップなど外部人材を活用した「総合的な学習の時間」にも力を入れる。具体的には文系2年で英語の特別講

義、同3年の小論文研究、理系2年の探究化学実験、同3年の英語文献購読などを実施、生徒たちが自己の将来を見据え、社会の変化に対応できる幅広い知識や判断力、探究力を身につけられるようにする。

ISH指定に伴う習熟度別少人数授業は、普通教室だけでは実施できず、特別教室棟の階段教室=写真=も利用することになる。また、夏休みの補習にも少人数授業を取り入れるため、母校では春休み中に特別教室棟の講義室10室に冷房装置を設置した。

### 藤原正彦氏迎え講演会



平成23年度の「生き方講演会」は10月24日、啓泉講堂でベストセラー「国家の品格」などの著者で、お茶の水女子大名誉教授の藤原正彦氏=写真=を講師に迎えて開かれた。

藤原氏は『21世紀をになう君たちへ』と題して泉丘生に対し、日本人が古くから培ってきた美的感受性や情緒、惻隱を大切に育て、これに付加して素晴らしい社会を築くことが祖国を救い、人類を救うことになる。日本人として生まれた意義はこうしたかたちで人類に貢献することだ—と述べた。

また、将来立派な人間となり、仕事を成し遂げるためには3つの情緒が必要—として、①野心を持つこと②執着心を持つこと③楽観的であることを挙げた。楽観論では数学の難問でも「これは優しい」とまず自分に言い聞かせる。難しいと思った瞬間、脳は萎縮して能力を発揮できなくなる。試合などで連勝している相手と戦う時も同じである—と数学者らしい例を挙げて生徒たちを諭した。

### 葵総合法律事務所

弁護士 芳網大介 (泉丘47期)

〒920-0912 金沢市大手町 6-26  
TEL (076) 231-0070(代)  
FAX (076) 231-0071

### 藤野法律事務所

弁護士 藤野智詔 (泉丘49期)

〒920-0024 金沢市西念 4-24-30  
金沢M・Gビル101  
TEL (076) 255-0762 FAX (076) 255-0761

### 小松

#### かがやき法律事務所

弁護士 川本 樹 (泉丘54期)

〒923-0919 小松市殿町 2-18-7  
TEL (0761) 24-2361  
FAX (0761) 24-6867

## 平成23年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	購入・寄贈者
海を渡ったサムライたち 加賀藩海外渡航者群像句集 月夜のこゑ	徳田寿秋 (泉丘12期)	寄贈・徳田寿秋 (泉丘12期)
鉄学のすすめ 「朱木」東京版6号	服部由貴 (泉丘13期)	寄贈・服部由貴子 (泉丘13期)
工業技術教育～二十一世紀に向けて～	西田雄三 (泉丘14期)	寄贈・西田雄三 (泉丘14期)
はたた神 高橋協子歌集	金沢一中54期・朱木会東京支部	寄贈・金沢一中54期
激動を生きた一教師の記録—子・孫への遺書—	氷田正男 (一中54期) ほか 工業教育同人	寄贈・氷田正男 (一中54期)
徳田秋声短編小説の位相	高橋協子 (泉丘8期)	寄贈・高橋協子 (泉丘8期)
アメリカで定年生活を楽しむ方法	清水隆久 (元泉丘高校教諭)	寄贈・清水隆久 (元泉丘高校教諭)
写真集「金沢泉丘高等学校旧校舎」	西田谷 洋 (泉丘37期) ほか 徳田秋声研究会	寄贈・西田谷 洋 (泉丘37期)
ブラジルの歴史	田中欣二 (泉丘12期)	寄贈・田中欣二 (泉丘12期)
ブラジルの観光ガイド	撮影・南 敏康 (泉丘30期)	寄贈・泉丘30期
リオ・デ・ジャネイロのガイドブック	同編集部	寄贈・友寄千代子 (泉丘12期・ブラジル在住)
	同編集部	寄贈・友寄千代子 (泉丘12期)
	同編集部	寄贈・友寄千代子 (泉丘12期)

## 通信制だより



## 通信制修学旅行、37人で九州へ

泉丘通信制が隔年に実施している修学旅行が平成23年9月25日から2泊3日の日程で九州の福岡・長崎・熊本を訪ねて行われた。全在校生が対象で37人が参加した。

旅行期間中は好天に恵まれ、バスガイドさんの説明も楽しく、日常の学校生活では味わえない良い体験となった。夜のハウステンボ

スを歩いたり、長崎では平和公園＝写真＝や原爆資料館で平和への思いを強くした。さらに熊本では熊本城の天守閣を見学して高校時代の思い出を心に刻んだ。

## 活躍する後輩たち

柏崎君(<sup>泉丘</sup>通信)ボクシングで3位

泉丘高校通信制2年の柏崎天秀君＝写真＝が、今年も高校総体ボクシング競技ライトフライ級で大活躍した。

兄の影響で小学2年からボクシングを始めた柏崎君は、6月の石川県大会(金沢市)と北信越大会(福井県鯖江市)で優勝、8月の全国高校総体(秋田県)では3位となった。

昨年は県で優勝、北信越は準優勝、全国はベスト8。「次こそ頂点」と闘志を燃やし、練習に余念がない。



印刷・出版・マーケティング・eビジネス

株式会社 橋本確文堂

代表取締役社長 橋本 勝郎  
(泉丘12期)営業本部 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10  
TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945  
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12  
TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp

印刷/事務機器・事務用品販売/WEB制作



株式会社 山越

http://www.kai-p.co.jp/

代表取締役社長 山越 昭雄 (泉丘11期)

■本社 〒920-0001 金沢市千木町ル70-1  
TEL (076) 257-9101 (代) FAX (076) 257-9119  
■東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-12-18  
TEL (03) 5413-7778 (代) FAX (03) 5413-7766

## 東大11人、京大に18人合格(前期)

東大、京大など国公立大の前期入試合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に11人(現役8人)、京大に18人(同15人)が合格した。難関2大学の合格者数を他高校と比べると、金大附属(東大16人、京大5人)や富山県1位の高岡(東大9人、京大8人)を大きく上回った。

その他の有名国公立大では阪大21人、名大13人、神大12人、北大7人、東北大5人、九州大3人、一橋大2人が合格した。

また、金大には53人が合格、うち医学部は11人だった。今年も昨年同様、医学部を目指す生徒が多く、金沢医科大にも7人が合格したのをはじめ私大を含めた医学部合格者は29人(現役9人)で浪人生の健闘が目立った。

### ◆将棋の県大会で泉丘Aが団体優勝

第47回全国高校将棋選手権県大会が5月1日、北國新聞会館で15高校が参加して開かれ団体戦は泉丘A(岡展生君、太田昇吾君、岡田悠佑君)が優勝した。また、同30日の第24回高校将棋竜王戦県大会(金大附属高)では泉丘1年の坂口智暉君が初優勝した。坂口君は8月23日の全国大会で予選を突破したが、決勝トーナメントの準々決勝で敗れた。

## 全国新聞コンで6年連続入賞

第60回石川県高校新聞コンクール総合の部審査会が10月12日、金沢市の北國新聞会館で行われた。県内17校の高校新聞の中から泉丘と桜丘が最優秀賞に選ばれた。泉丘は10年連続の受賞となった。

また、「高校新聞の甲子園」と呼ばれる第41回全国高校コンクール(大東文化大主催、朝日新聞など後援)の審査会が1月中旬に行われ、泉丘の「いずみの原」が今回も奨励賞に輝き、6年連続の入賞を果たした。

### ◆鉄道研究同好会に最優秀賞

石川県高文連郷土部秋季合同発表会が11月10日、金沢市の県立歴史博物館で開かれ、「北陸鉄道浅野川線の調査」について発表した泉丘高校鉄道研究同好会が最優秀賞に選ばれた。



## 野球部が雪かき協定

金沢市の「学生等雪かきボランティア協定」の締結式が1月15日、泉丘高校で行われ、同校野球部と泉野出町泉和会、同町四泉会が協定を結んだ。高校生による協定は初めて。

野球部はこれまで学校周辺の草むしりやゴミ拾いなどに取り組んでおり、雪かきでも地域に貢献したいと付近の町会に呼びかけた。

野球部の北本正伸監督と泉和会の笠原寿郎町会長、四泉会の沢口克秀会長が協定書に調印し、握手を交わした=写真・北國新聞社提供=。千田一紘副主将は「いつも練習を見守っていただいている恩返しです」と話した。

### <編集後記>

関東以北の太平洋側各県に未曾有の大被害をもたらした3・11東日本大震災から早1年が過ぎた。災害復興は遅々として進まないが、我々がこの1年に感じたことは、日本人の助け合いの絆の深さである。

昨秋、母校で講演したお茶の水女子大の藤原正彦名誉教授も、「弱者への涙や思いやりが最近の日本ではなくなっている感がしていたが、大震災後の日本人の行動を見て杞憂であったと悟った」と述べた。

一泉同窓会の『被災地医療施設支援事業』も多くの共感を呼び、石巻市民病院に眼科仮診療室を完成させた。この事業はまだ継続中であることを忘れないでほしい。(N)

### 「一泉」編集室

正村健三(泉丘4期) 中山一郎(同10期)  
浅香以都子(同10期) 小林弘子(同12期)  
題字・高川義一(一中53期・泉丘2期)